



東条西小学校便り

学校教育目標

自らを拓き、自立して、たくましく生きる 西っ子の育成
～挑戦する 友だちを支える 感謝する 西っ子～

2018.12.20

文責 西田

「挑戦する 友だちを支える 感謝する 西っ子」の2学期

明日で2学期も終わりです。

終業式では、2学期の学校生活を子どもたちと一緒にふり返してみようと考えています。行事、学習、日々の生活で挑戦したこと、挑戦する友だちを支えたこと、そんな西っ子を応援して下さった方に感謝すること。今学期も、子どもたちのがんばりはとてもすばらしかったです。多くの人に支えられ、色々なことに挑戦した自分の成長を感じ取ってほしいと願います。

ご家庭でも、成長を認め、励まし、ほめていただきたいと思います。ほかの子と比べたり、できないことをしかったりするのではなく、ほんの小さな成長であっても、それを家族みんなで喜び合ってほしいと思います。大いにほめてあげてください。よろしく願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、今学期も様々な場面でお世話になり、ご協力をいただきました。ありがとうございます。どうぞよいお年をお迎えください。

挑戦する西っ子!

【エコまじょうポスター】

| | |
|----|---------|
| 金賞 | 4年 岸本彩希 |
| 銅賞 | 6年 片山茉歩 |

お世話になりました!



◇東条特産「こいのぼり」づくり〔12/17〕



蔵谷の柴崎物産の柴崎さんにお世話になり、2・3年生が、今年も「こいのぼり」づくりの体験をさせていただきました。柴崎さんの温かい人柄に子どもたちは癒され、素敵なこいのぼりを一人一人がつくり、家に持ち帰りました。こいのぼりづくりにもその子の性格が表れるようで、一人一人に「きみは、〇〇な性格やなあ。」と優しく声をかけていただきながらの制作になりました。

◇開魂園の樹木ものしり博士になろう〔12/13〕

3年生の総合的な学習の一環として、「人と自然の博物館」の小舘先生にお越しいただきました。開魂園の樹木の名前や仲間分けの仕方、見分け方、生き物の足跡など、いつもと違う目で開魂園を散策しました。



学習で開魂園を利用できるのは、PTAの方々の奉仕作業のおかげです。いつもありがとうございます。

◇農家の仕事のひみつ〔12/6〕



加東市内で農業をされている津田さんに3年生の社会科の学習のために来ていただきました。津田さんは、加東市の学校給食にも野菜を提供されています。来校していただいた日の給食がたまたま津田さんの栽培された「ケール」が使用された献立になっていました。子どもたちは津田さんの優しい笑顔を思い浮かべながら美味しく給食をいただきました。

◇絵手紙を書こう〔12/18〕

2019年の干支はいのししです。絵手紙の書き方を大久保雅 元校長先生に教えていただきました。それぞれ味のある、楽しい絵手紙を書くことができました。

「みんな違ってみんないい」絵手紙になりました。



冬休みに約束を… ～安心してつながり合えるネット社会～

兵庫県による子どものインターネット利用に関する調査で、子どもの実態と保護者の認識に大きな差があったと、12/7の神戸新聞の第1面に掲載されていました。

また、兵庫人権ジャーナル11月号では、加東市内の小中学校等で何度も講演されているNIT情報技術推進ネットワーク株式会社 代表取締役 篠原 嘉一さんが「インターネットにおける人権侵害の現状と防止」と題して以下のようなことを書いておられました。

「…自分の意見を伝えることは大切ですが、コミュニケーションが人同士でしっかりと出来る力があれば問題は起きにくいのです。ネット越しでしか意見が言えない状況で発する意見は誤解を招きやすいのです。…ネットは本音を言える場だと勘違いしてしまうことが危険なのです。」「…スマホが危険なのではありません。知らない人と繋がってしまうSNSアプリを安易に使うことが危険なのです。…我が子を被害者にも加害者にもさせないために、まずはアナログな経験を実体験させることが大切です。友達と遊ぶ、喧嘩をしても構わない、自分の力で相手にちゃんと謝ることが出来る子どもにしなければいけないのです。社会に出て孤立や対立をしてしまう大人をつくらないためにも、デジタル時代だからこそアナログなマナーやモラルの学習は大切なのです。」



東条西小学校の5・6年生の児童の10%が、休日には4時間以上、インターネットを使用していると答えています。家庭で家族と一緒に過ごす時間が多くなる冬休みの機会に、ネットの正しい使い方ができるよう、家庭で使い方のルールを確認する時間を設けていただいてはいかがでしょうか。その際、全米で話題になった米国マサチューセッツ州のお母さんが13歳の息子グレゴリーに渡した「スマホの18の約束」もご参考にいただければと思います。これは、クリスマスの日にプレゼントしたスマートフォンの箱の中に入れていたお母さんが作った「使用契約書」です。ネットで検索していただくと読んでいただけます。